



松本北海道地域防災マスターの

コラム 松本塾

第3回 「9月1日」は防災の日!!

私たち団塊の世代では当たり前のように、「9月1日は防災の日」だと教育を受けてきたような気がします。これは大正12年に起きた関東大震災で10万人を超える人が死亡、行方不明になったことをきっかけにあらゆる災害についての認識を深め、災害に対処する心構えを準備することを目的として、昭和35年に国民の記念日とされたそうです。

私は、東日本大震災以来、厚内小学校や和ごころ体験塾の子ども達と防災学習を行い、今年、新たに浦幌小学校の子達とも防災学習を行いました。この防災学習で、「9月1日は何の日？」と聞いても、ほとんどの子たちは知らないのです。当然と言えば当然で、私でも生まれる前の出来事なわけだから。かといってどうでもいい話ではないのです。

昭和27年の十勝沖地震のことは、私が子供の頃から家族や学校でその被害などを教え聞かされました。この時期になると町立博物館で町内の災害写真の展示とか記録ビデオの放映を行っているが、「災害は繰り返しやってくる、過去に起きたことを教訓に」との思いを伝えるために今後も続けていただき、大人達が子ども達に過去の出来事を伝えていくことが大切だと思っています。

過去数年ほど、国内の主な災害を振り返ると様々な災害が発生しています。十勝沖地震も年号を入れなければ、いつの地震だろうと思うほど何回も起きています。

昭和58年日本海中部地震では遠足で海に来ていた小学生13人を含めて104人が津波や地震で亡くなりました。平成5年北海道南西沖地震では大津波により一瞬にして町がなくなり、平成7年阪神淡路大震災では都市型断層地震として大きく報道されました。平成8年11月佐呂間町の竜巻災害、平成19年新潟県中越地震、平成25年3月にはオホーツク地域での暴風雪により車が立ち往生したため、車内に充満した一酸化炭素の中毒による死亡事故や外出した親子が雪で動かなくなった車を捨て、近くの知人宅に避難する途中に身動きできなくなり、父親が娘をかばうようにして亡くなるという事故も起きました。去年は広島市と礼文島で大雨による土砂崩れによる被害が発生し、御嶽山の噴火では登山者63人が犠牲となり、釧路・根室市では高潮による道路の冠水や住宅の浸水がありました。今年に入り、5月29日に鹿児島県口永良部島の新岳が突然噴火し、噴火警戒レベル5が発令されたため、島の全住民が屋久島に避難する事態となりました。また、桜島でも噴火、箱根の大涌谷では蒸気爆発の可能性があるため警戒規制をしている状況です。このように挙げればきりがなほどの災害の多い国に私達は住んでいること認識し、災害は必ずやって来ると考えましょう。

私達個々の力では自然の猛威を防ぐ事は出来ませんが、被害を最小限にする事はできるのであきらめず、普段から防災に関する知識を身に付け、必要な非常用物品を用意し、家具など倒れやすい物を固定するなど、隣近所と連携していざという時にはお互いが助け合う、自主防災組織を結成して防災訓練や講習会に積極的に参加するなど、物と心の準備をする事がとても大切です。

最後に、今年の「9月1日」は、「北海道シェイクアウト」という訓練が実施されます。(24-25ページ参照)

地震の揺れから身を守るためには、とっさの「ドロップ・カバー・ホールドオン」を実践してください。

(北海道地域防災マスター 松本英俊)

北海道シェイクアウトの実施について

浦幌町では、北海道シェイクアウトへの参加を呼びかけております。
各職場、学校などの単位でのご参加をお願いします。

2015. 9. 1 (火) 午前10時～

シェイクアウトとは、「防災安全行動」の訓練です。広範囲に災害が発生すると24時間以内に救援の手が届くことは厳しくなります。まず「自分自身を守る」次に「周囲の人を助ける」ことが生き抜くために欠かせません。どう自分を守るのか、どう周囲の人を助けるのか、危機意識・防災意識を持つことが大切です。この訓練は、地震を想定して参加者が一斉に行動するという形の訓練です。参加者はインターネットなどを通じて防災についての知識を深め、同じ日時にそれぞれの場所で一斉に安全行動（安全行動の1-2-3）を行います。

(安全行動の1-2-3)



- ①ドロップ 揺れに倒される前に姿勢を低く！
- ②カバー 手や腕で頭や首を守って！
- ③ホールドオン 揺れが収まるまでじっとして！

携帯電話によると登録には、下記QRコードをご利用ください。



<http://www.shakeout.jp>

～訓練の内容～

日 時	平成27年9月1日(火) 午前10時00分
対 象 者	北海道在住の個人及び団体（学校、企業等）
想 定（概 要）	平成27年9月1日(火)午前10時、北海道日本海沖を震源とする大規模な地震が発生し、日本海沿岸南部及び日本海沿岸北部に大津波警報等が発令された。
参加費・参加方法	1. 参加費は、無料です。 2. 参加方法は、専用Webサイト (http://www.shakeout.jp) にアクセスし、申込みフォームから登録してください。 3. 専用の携帯アプリをご活用ください。（一部の機種では使用できない場合があります。）
内 容	訓練方法 専用の携帯アプリを活用し（アプリの活用ができない方などは訓練時間になりましたら、地震の揺れを想像してください。）、約1分間、身を守る行動をその場で行ってください。実際の地震を想定するためにも、なるべく身近な人に声かけをしていただき、周囲の人と一緒に安全行動をとってください。（登録先からの連絡はありません。） 身を守る方法として、上記安全行動の1-2-3を実施してください。 また、基本行動以外に避難、安否確認、情報収集・伝達、人命救助訓練など、その他の自主訓練の計画がある場合は、引き続き実施してください。

北海道シェイクアウト2015地震防災訓練アプリの御案内

本訓練には地震防災訓練アプリが使用できます。

本アプリをダウンロードして、訓練登録用のQRコードまたは手動で訓練情報を登録いただくと、北海道シェイクアウト訓練当日の平成27年9月1日（火）午前10時に緊急地震速報の専用ブザー音が鳴ります。

ブザー音をきっかけに避難行動をとる訓練を実施出来ますので是非ご活用下さい。

① 地震防災訓練アプリのダウンロード

(1) Androidの方はこちら

■Android版

<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.nttdocomo.android.bousaikunren>



(2) iPhoneの方はこちら

■iPhone版

<https://itunes.apple.com/jp/app/id892289370?mt=8>



↓ アプリダウンロード後、訓練情報を登録して下さい。

② 訓練情報のダウンロード

(1) このQRコードを地震防災訓練アプリで読み込んで下さい。



(2) QRコードで登録できない場合は手動登録で下記の情報を入力して下さい。

【訓練名】北海道シェイクアウト
【訓練日時】2015年9月1日（火）
10時00分
【訓練ID】150006

③ 訓練の実施

訓練の日時になると専用のブザー音が鳴動します。
音が聞こえたら、避難行動をとる訓練を行います。
(プラスワンで避難訓練等の自主訓練計画を実施。)



(提供 効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議)

※操作方法等は地震防災訓練アプリ HP をご覧下さい。

https://www.nttdocomo.co.jp/service/safety/areamail/earthquake_warning/disaster_prevention/